

サケ稚魚放流情報 No.2



平成 29 年 3 月 16 日
岩手県水産技術センター
漁業資源部
TEL: 0193-26-7915
FAX: 0193-26-7920

表面水温は、いずれの湾でもサケの適水温の範囲内にあります。
動物プランクトン沈殿量は増加傾向にあり、平年・前年と同程度～上回っています。
飼育密度が超過しないよう計画的に放流を進めてください。

1 表面水温 (°C)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/6, 8)	8.1	8.1	8.3	7.9	7.3
平年*	5.9	5.2	4.9	5.7	6.6
前年同期	8.7	8.2	9.3	8.5	8.3

平年比では1~3°C程度高め、前年比では1度程度低め~1°C程度高めで推移しています。
いずれの湾でもサケの適水温 (5~13°C) の範囲内にあります。

2 動物プランクトン沈殿量 (ノルパックネット鉛直 20m 曳き、ml/m³)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/6, 8)	0.99	2.36	0.65	0.57	1.03
平年*	0.47	0.16	0.36	0.27	0.52
前年同期	0.65	0.24	0.52	0.72	0.13

前年・平年と比較して、概ね同程度～上回る値となっています。

3 今後の水温の見通し**

1ヵ月後(4月中旬)の水温を予測したところ、すべての手法で平年に比べてやや高め~高め(7.7~9.1°C)と予測されました(モデル海域:山田湾)。

異常冷水現象(沿岸域で5°C以下の水温が2週間以上持続する現象)は、4月上旬までは発生する可能性は低いと判定されました。

4 その他

- (1) 北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査によるものです。
- (2) いわて大漁ナビ (<http://www.suigi.pref.iwate.jp/>) の定地水温情報・衛星画像や、当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

*平年は過去12~14年間の同期の平均値

**先端技術展開事業「天然資源への影響を軽減した持続的な漁業・養殖業生産システムの実用化・実証研究委託事業」による研究成果

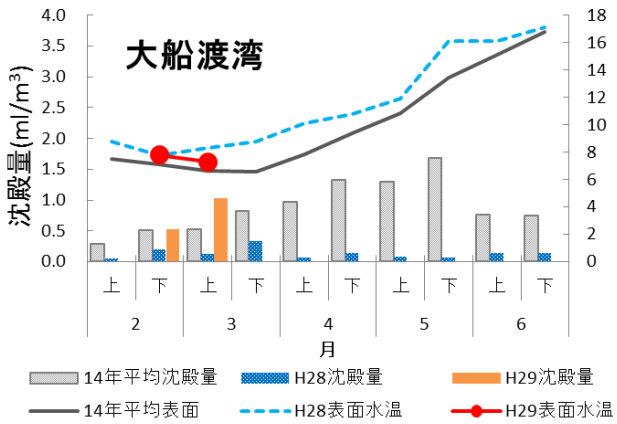
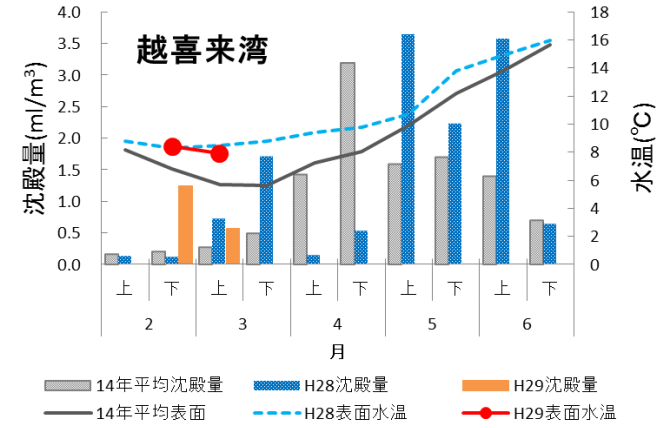
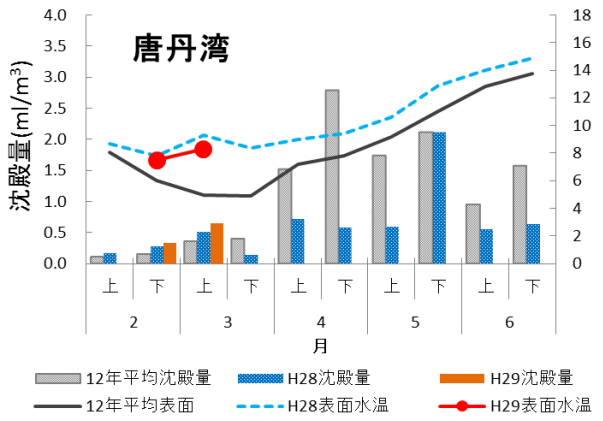
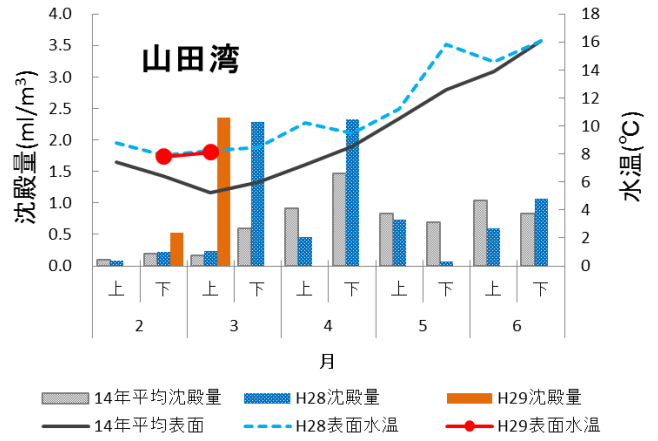
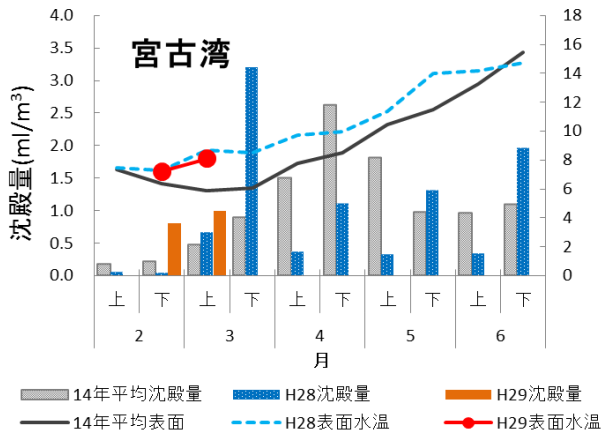


図 5 湾における動物プランクトン沈殿量，表面水温の季節変化